



命を救うリレーの第1走者はあなたです

～突然、人が倒れたら、救命処置ができますか？～

救命処置とは

私たちは、いつ、どこで突然のけがや病気に襲われるか分かりません。そんなときに、病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。

けがや病気の中でも最も緊急を要するものは、心臓や呼吸が止まってしまった場合です。心筋梗塞や脳卒中などは、何の前触れもなく起こることがあり、心臓と呼吸が突然止まってしまふことがあります。このような場合に、そばに居合わせた人が、命を救うために行う応急手当のことを救命処置といいます。

まず、一一九番通報

心臓や呼吸が突然止まった人の命を救うには、何をすればよ

いのでしょうか。

まず必要なことは、「すぐに一一九番通報する」ことです。通報が早ければ早いほど、病院に早く到着できます。また、病院に到着するまでの間も、救急隊員による高度な救急処置をより早く受けることができます。そばに居合わせた人たちが、救急車が到着するまでに救命処置を行うことで、命が救われる可能性も高くなります。

救命のリレー

一一九番通報をしてから、救急車が到着するまでの間に、まず気道を確保し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸などの心肺蘇生を行います。近くにAED（自動体外式除細動器）があればこれを使って救命処置をします。救急車が到着したら救急隊員に状況や施した処置を報告し、引き継ぎます。病院に搬送された傷病者は医師によって、専門的な救命医療を受けます。

これらの処置をつなげて命を助ける…これが「救命のリレー」です。救命のリレーのスタートはその場に居合わせた皆さま



▲市役所の窓口にAEDを設置しています

んです。皆さんがリレーのスタートを切ることで、人の命が救われることとなります。

AEDとは

AEDにはいくつかの種類がありますが、どの機種でも同じ手順で使えるように設計されています。

まず、電源を入れてください。以降は音声メッセージとランプで指示をしてくれますので、落ち着いて指示に従ってください。

突然に心臓が止まる場合、心臓が細かく震える「心室細動」によって生じることが多く、A

EDは心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すための機器です。

電気ショックが必要かどうかは機器が心電図を解析し、指示してくれます。必要ないと指示された場合でも、傷病者の反応がないときは、救急車の到着まで心肺蘇生（心臓マッサージ三十回、人工呼吸二回を繰り返す）を続けてください。

AEDの取り扱いには特別な資格や医療技術は要りません。誰もが使えるようになっていきます。

救命講習に参加しましょう

実際に救命処置が必要な現場に居合わせたときのためにも、消防署などが行う救命講習に参加しましょう。心臓マッサージや人工呼吸の方法、AEDの取り扱いなどを体験しておき、いざというときに救命処置が行えるようになりましょう。

南丹市役所では、市役所の本庁と各支所の窓口にAEDを設置しています。万が一、その付近で誰かが突然に倒れた場合には、このAEDを使用して、救命に役立ててください。